

平成23年度 進路講演会

～宇津木 妙子氏をお迎えして～



平成23年度進路講演会は、11月10日（木）午後、本校体育館において開催された。今年度の講師は、元ソフトボール日本監督（現NPO法人 ソフトボール・ドリーム理事長）の宇津木妙子氏であった。一昨年、講演予定であったが、新型インフルエンザ流行のため、急遽中止になり、本年、再度お願いしたものである。

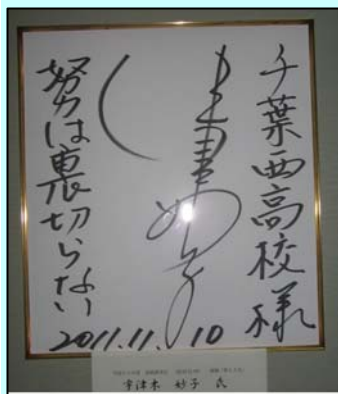
「夢と人生」の演題で講演された。ソフトボールとの出会いから、高校時代のエピソード、働きながらのソフトボールとの関わり。家族や多くの人々に支えられながらも全てが順風でなく、時には挫折を味わったこと。全日本監督になる経緯や監督時代の苦労の数々。シドニーオリンピックでの銀メダルの屈辱・アテネオリンピックでの銅メダル。北京オリンピックでの金メダル獲得という悲願達成時の放送解説者としての喜び。そして、上野投手や多くの教え子たちとの師弟愛。今のソフトボールへの熱い思い。とにかく半生を真摯に語っていただきました。ぎりぎりまで自分と対峙した人ならではの思いを随所に鏝めながら私たちに大きな力を与えてくれた講演であった。

今回、宇津木先生からは、色紙と著書『ソフトボール眼（アイ）』、『私は風になる』というDVDを戴きました。色紙には「努力は裏切らない」と揮毫していただきました。



一つのことには人生を賭け、人知れない努力や苦労をものともせず前向きに生き、多くの人たちとの出会いで人間を鍛え磨き、今では、世界中を駆けめぐる充実した日々を送っている。そんな先生を目の当たりにする機会を得たことは、本当に私たちにとってかけがえのない貴重なものでした。それは、まさに人生における「夢」の実現を果たすための「諦めずに努力すること」の意味を考えさせられるものでした。柔和な語り口と、時折、垣間見せる鋭い人間観察眼、そして抱擁力ある笑顔がとても印象的でした。

例年、多彩な顔ぶれの著名人を招いている進路講演会は、生徒諸君の感性・知性や生き様にヒントを与えてくれています。



『ソフトボール眼』の前書きは、「ソフトボールは、夢を持つ者が勝つ。なぜなら競技自体が人生に似ているからだ。」から始まる。「日本のエース・上野由岐子は「強い弱いは、執念の差」と言ったが、執念とは、夢へのこだわりのことだ。もちろん私にとっても金は夢だった。…」と続く。

*なお、宇津木氏のブログにも千葉西高校の記事を掲載していただいております。

